

## 開会の言葉 出葉 充 副会長（札幌市立桑園小学校）

感染症対策で制約の多い日常が長く続いております。このような状況によって、かえって進んだ物事もあり、学校における ICT 環境の充実はその一例と言えます。

私の学校でも、欠席や出席停止中の児童が、持ち帰った端末で自宅から授業に参加したり、閉鎖中の学級の子どもの顔が並ぶディスプレイに向かって、担任の先生が授業を行ったりする光景が日常化しました。

こうして、自宅に居ながら学びを進められるのであれば、もはや学校に登校する必要はなくなっていくのかというと、そのようなことはないと思います。仲間と集って共に過ごす時間の意義や意味合いは、オンラインでは補いきれないものがあるからです。

さて、私たちの活動も、この間、オンラインやハイブリッドという形態で行うことが多くありました。そしてそのような実施法のメリットが確認できるとともに、実施のノウハウも蓄積されてきました。安全面だけでなく、効率化という観点でも、活動方法の工夫は引き続き必要だと思われます。しかし、それでも、一堂に会することが本来は望ましいという場面は多くあります。

本日のような「第1回」という状況もその一つで、可能な限り集合し直接お会いすることが大切だと思われます。その意味で、今年度はこうして多くの皆さまにお集まりいただくことができ、幸いに思います。

新たなメンバーのつながりを深めて、本年度の活動がスムーズに進むようなスタートの会になることを祈念しております。

それでは、第1回理事研修会を開会いたします。どうぞよろしく願いいたします。